

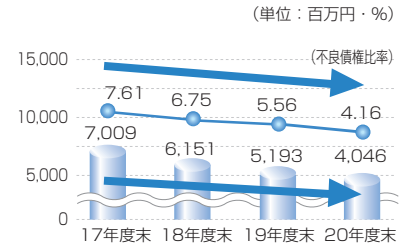
不良債権の状況

●不良債権額・比率

■不良債権額の減少を図るため、**企業再生支援の実施およびオフバランス化**等を推進した結果、平成21年3月末のリスク管理債権額は4,046百万円となり、**前期末に比べ1,147百万円の減少**となりました。

■総貸出金に対する**不良債権比率は4.16%**ですが、リスク管理債権総額から担保保証額および貸倒引当金合計額3,894百万円を控除した**実質不良債権額は151百万円**、率にして**0.16%**となっています。また、担保保証額を全く考慮しない場合（貸倒引当のみ控除）でも**不良債権比率は2.89%**となり、必要十分な手当（＝貸倒れに対する危険負担）を実施しております。
※その他要注意先および正常先に対する一般貸倒引当金は除きます。

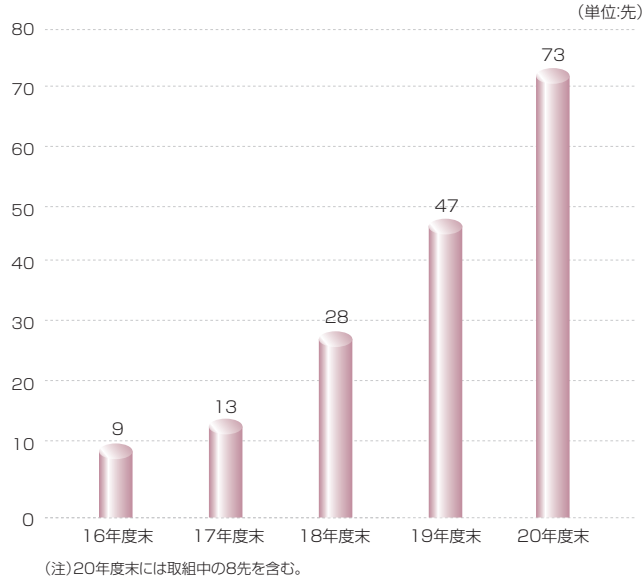
■不良債権額・比率（リスク管理債権）



事業再生・経営支援への積極的な取組み

当金庫では、リスク管理部内に中小企業診断士資格取得者を中心とした「経営強化支援グループ」を設置し、各外部支援機関や各専門家とのネットワークを活かしながら、地域中小企業の経営改善支援に積極的に取り組んでいます。

■外部支援機関活用による経営支援取組先数(累計)



外部支援機関活用による支援

外部支援機関と連携し中小企業の経営改善計画策定を支援しています。

- 栃木県中小企業再生支援協議会
- 栃木県商工労働観光部経営支援課
- RCC (整理回収機構) 事業再生スキーム

各専門家、支援機関との連携による支援

事業支援等の金融分野以外の経営支援にも積極的に取り組んでいます。

- 中小企業診断士等の外部コンサルタント、弁護士、税理士、社会保険労務士等の各専門家との連携による、経営支援・アドバイスの実施。
- (財) 栃木県産業振興センター、とちぎ産業創造プラザサティライトオフィス、NPO法人等との連携による、技術相談や販路開拓支援の実施。

多様な金融支援手法への取組み (支援実施内容)

新たな金融手法や再生途上企業への金融支援に積極的に取り組んでいます。

- 公的再生資金制度等の活用による再生途上企業への運転資金支援
- 動産・債権譲渡担保融資制度を活用した運転資金支援
- コベンツ契約 (融資合意) に基づく運転資金等の支援
- DES、DDS (債務の一部株式化、劣後化) を活用した支援
- リファイナンス支援 (RCC等に譲渡された債権の買戻し支援)

●私的整理ガイドライン、RCC再生スキーム活用による事業再生事例

収益性のある事業部門を有しながら、過去の多角化等の失敗により過剰債務を抱えている地域中小企業に対する事業再生事例。当金庫では、地域内雇用の確保を最大の使命として、RCC等の関係諸機関との連携を図りつつ、主要取引先のご理解・協力を仰ぎながら、新会社への融資支援のみならず、DES (債務の一部株式化) による資本支援や人的支援等を含めた多面的な再生支援を実施いたしました。

